

他団体との連携に関する情報

登録番号	団体名	<b>(N) コミュニティケア街ねっと</b>	
512			
1. 他団体との連携の希望		できれば連携したい	
2. 連携を希望する相手			
町内自治会・地域運営員会 行政 企業 他の市民活動団体 学校			
3. 連携する場合、団体が提供できるもの（こと）			
スキルを持った人材を派遣できる。 〔スキルの内容：地域コーディネーター〕			
知識やノウハウを提供できる。 〔知識やノウハウの内容：成年後見、ボランティア養成、地域づくり等の事業に関係すること〕			
4. 他団体と連携する際、相手方に費用負担を求めるか			
応相談 〔※内容や金額、条件等：相手にもよるが、日当と交通費程度。ただし、自治会や市民団体の場合は当方も関係性作りにつながるため無償もあり。〕			
5. 他団体と連携した実績（事例）や今後連携する予定			
連携相手（団体等の名称）		連携内容	
グリーンプラザ園生自治会		ラジオ体操(週 1 回)やシニアリーダー体操(月 1 回)などの開催時の支援	
生活クラブ千葉グループ		グループ 4 団体と連携して進める地域づくり「生活クラブ安心システム」と「街の縁側」の推進。各拠点で子ども食堂、サロン、居場所等様々な活動を作り、地域の多世代交流や社会参加、相談支援に力を入れている。	
柏市社会福祉協議会		地域支えあい推進員(柏市 2 層生活支援コーディネーター)として、地域の「支えあい会議」に参加し、他の「たすけあい団体」と連携して、地域づくりに貢献している。	
6. 他団体と連携して行いたい取組の内容			
連携相手		連携して行いたい取組の内容	
自治会・市民団体		防犯活動、サロン、居場所づくり	
行政、学校、市民団体、企業		子どもの貧困対策	
7. 他団体と連携することについての考えや、連携する際の課題など。			
他団体に提供できるものとして Q3 に挙げているものは、暮らしの安全や地域活性化を共に取り組む過程で実践してきたことが多い。今後もそのように、連携先と相談しながら活動を進めていきたい。			